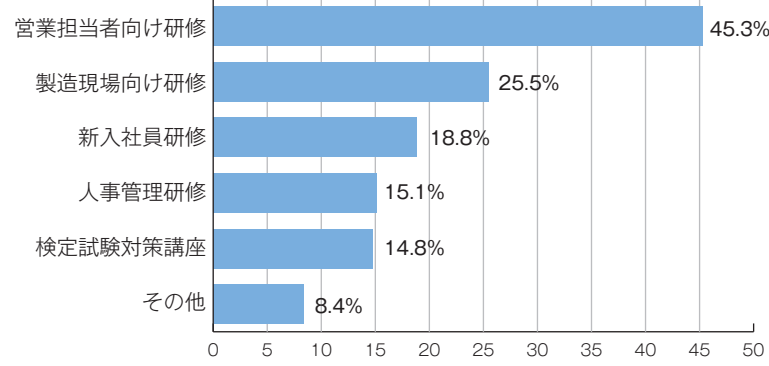


調査レポート Part.2

Report

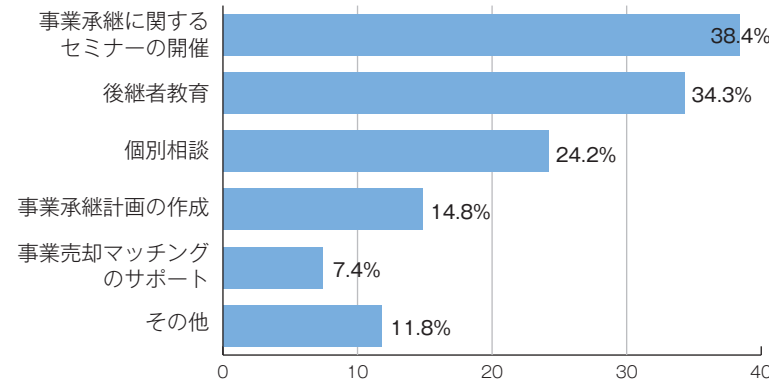
商工会議所の利用状況と 小規模事業者の実態

図3 興味のあるセミナー (複数回答)



(3) 興味のある
セミナーテーマについて(図3)
興味があるセミナーについて
は、「営業担当者向け研修」への
回答が最も多く(45・3%)、次
いで「製造現場向け研修」(25・
5%)であった。一方で、「人事
管理研修」(15・1%)と「検定
試験対策講座」(14・8%)はい
ずれも20%を下回った。売上向上

図4 事業承継について会議所に求める支援策 (複数回答)



(4) 事業承継に関して
商工会議所に求める支援策(図4)
事業承継に関して商工会議所に
求める支援策としては、セミナー
開催が最も多く(38・4%)、
次いで「後継者教育」(34・
3%)、

お問い合わせ先
中小企業総合支援センター
TEL 0776(33)8282
詳細は福井商工会議所HPを
ご覧ください。

(5) 今年の従業員の採用状況について(図5・図6)
今年の採用状況については、
「現在募集中である」が21・3%
と「新しく人を雇うことができ
た」の16・8%を上回る結果と
なった。「人を雇いたい、雇う余
裕がない」と回答した事業所も併せ
ると全体の約4割が採用に至って
いないことが明らかとなった。
業種別に見た場合についても、
特に建設業において「現在募集中
である」が「新しく人を雇うこと
ができた」を20%以上上回り、人
材不足が深刻な状況にあることが
わかった。

や組織の生産性等に関わる内容の
セミナーを求めている事業所が多
いことが分かった。
「現在募集中である」が21・3%
と「新しく人を雇うことができ
た」の16・8%を上回る結果と
なった。「人を雇いたい、雇う余
裕がない」と回答した事業所も併せ
ると全体の約4割が採用に至って
いないことが明らかとなった。
業種別に見た場合についても、
特に建設業において「現在募集中
である」が「新しく人を雇うこと
ができた」を20%以上上回り、人
材不足が深刻な状況にあることが
わかった。

図6 今年の従業員の採用状況について (業種別)

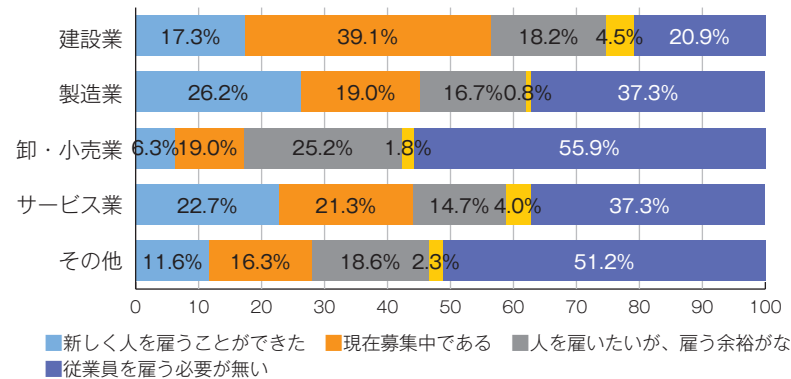
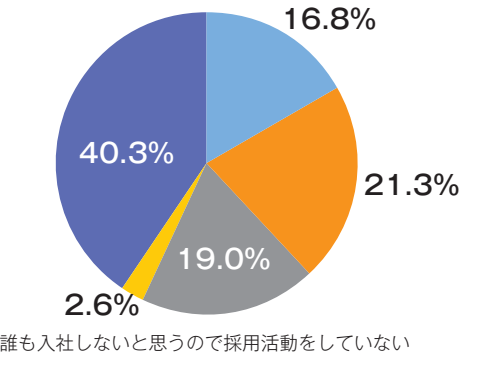
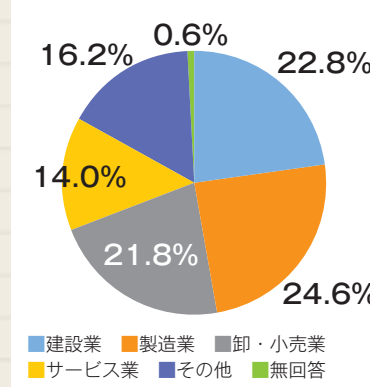


図5 今年の従業員の採用状況について



回答企業の属性



《回答事業所の属性》

- 調査時期
平成28年10月3日(月)～13日(木)
- 調査方法
FAXによる送付、回収
- 調査対象
福井商工会議所会員事業所の
小規模事業者 3,510社
- 回収率
15・3% (536社)

《調査目的》
当所会員である小規模事業者の
当所事業に対するニーズを把握す
るため、アンケート調査を実施。
マル経融資や補助金申請等の当
所支援事業について、小規模事業
者の利用状況や潜在的なニーズを
的確に把握することで、当所事業
の立案や相談案件の掘り起こし等
に活用する。

《調査結果》
(1) 当所の利用状況 (図1)
当所が実施している中小企業支
援の利用状況について尋ねたところ、
最も利用が多いのは「マル経
融資」で全体の61・0%を占めて
おり、次いで「補助金申請」が
26・7%、「商談会」、「経営相
談」と続いた。当所が「マル経融
資」「補助金申請」でよく利用さ
れていることが分かった。
(2) 申請・活用したことがある
補助金制度 (図2)
補助金を申請・活用したことが
あると回答した事業所に対して、
利用したことある補助金を尋ねた
ところ、販路開拓にかかる経費に
対して最大50万円の補助を受ける
ことのできる「小規模事業者持続
化補助金」が47・5%と最も多
く、次いで設備投資などが対象と
なる「革新的ものづくり・商業・
サービス開発支援補助金」が33・
7%で続いた。これらは国が公募
している補助金で、他のものと比
べて、多く申請・活用されている
ことが分かる。

図2 申請・活用したことがある補助金 (複数回答)

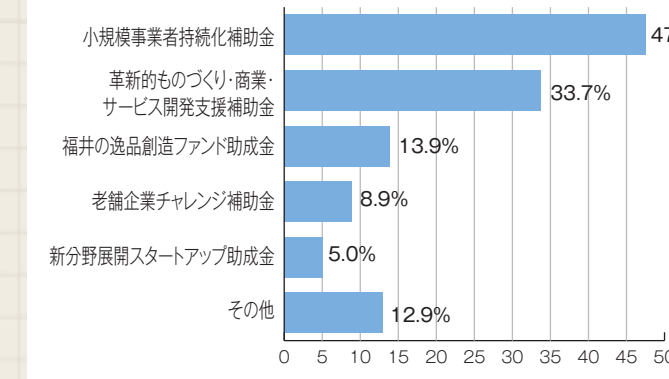


図1 当所の活用状況 (複数回答)

